

平成21年度第2回中原区区民会議

平成21年度第2回中原区区民会議が開催されました。

会議では、協働推進事業検討部会報告、運営部会報告の後、「まちの魅力を見つける」をテーマに、ゲストの方による講演、委員の方々による意見交換が行われました。

会議の内容は次のとおりです。

日時・会場など

平成21年10月8日（木）午後6時から午後8時20分まで

中原区役所5階会議室

会議の傍聴人 29名

会議次第

- 1 開会
- 2 会議録確認委員の選任
- 3 議題
 - (1) 運営部会報告
 - (2) 協働推進事業検討部会報告
 - (3) 「まちの魅力を見つける」
中原歴史散歩の会 中山 博夫
「まちの魅力を見つけることは楽しみである」
 - (4) 全体意見交換
 - (5) 課題調査部会委員の改選・選任
- 4 その他
 - (1) これまでの審議課題に対する取り組み
- 5 閉会

<鈴木副委員長から9月7日の運営部会の報告>

- ・「まちの魅力を見つける」のテーマについては、第2回区民会議での審議後、課題調査部会で調査、検証を行い、第3回運営部会で調整、確認後、第3回区民会議でまとめを行う。
- ・審議の進め方は、魅力の収集を中心に議論し、集められた魅力の調査、検証を課題調査部会を中心に行い、魅力の発信方法を検討して、来年1月の区民会議で魅力の共有方法とまとめを行う。
- ・運営部会委員の意見としては、中原区は他区と違った魅力を持っているので多くの

方に知らせる必要がある。若い人が中原の魅力を認識することはふるさとへ誇りを感じることになる。中原区には他区にはない施設が多くある。スポーツが盛んなことをアピールしてもよいのではないか。中原の写真展などを開催して魅力を知らない人に伝えていくとよい。魅力を支える人を紹介することで魅力を支える人を支援していくとよいのではないかと意見があった。

<横川委員から7月22日と9月24日の協働推進事業検討部会の報告>

- ・7月22日の部会では、事務局から20年度に実施した事業について説明を受け、審議を行った。委員からはおおむね妥当との意見をいただいた。
- ・安全・安心まちづくり推進事業については、青色防犯灯の設置により犯罪件数は実際に減っているのか、青色は冷たい、寒いなどの声が多くあるが、反応はどうかという意見があったが、犯罪が減ったとの報告を受けたので、そのまま継続することになった。
- ・区民の手で花いっぱい中原事業について、植栽場所に管理者名の立て札を設置したほうがよいのではないか。
- ・9月24日の部会では、22年度実施事業案について事務局から説明があった。
- ・子育て支援者養成事業について詳細が知りたいとの意見があり、事務局から説明があった。
- ・子育て支援者養成事業について、地域の子育てでは子育てサロンを手伝ってくれる人数が不足しているのよ事業だと思ふとの意見があった。
- ・区役所のサービス向上事業については、以前に比べると職員の顔つきもよく、いい感じを与えている。
- ・中原区市民提案型事業について、地域特性を生かした事業展開をしてほしい。

中原歴史散歩の会 中山博夫さんの報告「まちの魅力を見つけることは楽しみである」

- ・中原区には魅力が多い。東西南北に広く、神社仏閣や最近の魅力に関するものが多い。
- ・資料や古文書等には全く同じことが書いてあるが、小さな資料や細やかな資料にこそ楽しみが多い。例えば、二ヶ領のせせらぎ館の近くに取り入れ口の話があり、町会の方たちが書いたものに宿河原取り入れ口先行説がある。それを決定するのは学者であり、私たちはそれを読むだけではあるが、読んで楽しいことが多い。上丸子天神町の天神様は、日枝神社に行き、最終的に天神町に戻っている。改築記念碑でとった拓本には昭和4年9月と書いてあるが、いろいろな本にも昭和の初年に日枝神社から天神様に移ったと書いてあり、自分の読んだとおりだと感じた。丸子山王日枝神社の天

神様の移転前の台座については、青木根から日枝神社に移った場所にコンクリートでできた台座があるが、それが今の天神様の台座と少し大きさが違う。これも自分でスケールを持って行って調べて理由がわかったりした。小田原北条家系図についても、小田原北条が関東へ打って出るのに吉良家と縁を結びたいということで、早雲の孫娘、その娘も嫁に来ていることを読み、小田原城の家系図からもそれが発見できた。等々力緑地内の道路も、昔、大水で境界線がわからなくなり、大岡越前が裁決した道が等々力陸上競技場の桜道だと聞いていて、等々力ミュージアムに行くと、江戸時代の大きな図面にも大岡越前が裁決した道だと書いてあった。等々力緑地の池についても、機械掘りをしたものを運ぶために新丸子の駅から宇奈根あたりまで線路を引いたことを読み、世田谷の古文書でも確認できた。

委員からの主な意見・提案

- ・ 中原の魅力は人である。
- ・ 中原は水がいい。多摩川の上流からの水の恵みで私たちは生きている。
- ・ 天災がなく、穏やかな町である。
- ・ 桜の木、桃の木も心を和ませてくれる。
- ・ 東横線、南武線が通り、また、来春には横須賀線新駅が開業する。交通の便が非常にいい。
- ・ 日本で一番街道が多い。街道があったからこそ中原が発展し、現在がある。
- ・ バランスのとれたまちで、日本を代表する風景も備えており、平和館もある。八幡町や山王町にはお寺と神社があり、子どもたちが始終伝統行事に参加している。文化面でも法政や大西学園はプラスバンドのトップである。
- ・ よそ者扱いしないで寛容に受け入れてくれる。
- ・ NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントではモールマップが完成し、商店街の魅力が掲載されている。
- ・ 地形が平坦で、自転車でもどこでも移動できる。
- ・ 桜や多摩川など区の魅力をたくさん歌詞に含んでいる「この街のどこが好き？」を魅力発信に活用してほしい。
- ・ 次世代に新城の郷土芸能を見ていただきたい。
- ・ 小学生や中学生が自分の住んでいる地域を調べたものを地域で共有できれば一体感が出るのではないかと。ホームページなどで魅力について発信するといいのではないかと。
- ・ 等々力の緑地を生かし、小杉から競技場までの道、中原への道をもっと活性化したほうがいいのではないかと。
- ・ アミガサ事件と有吉堤は中原区の歴史に残るものだと思う。

- ・ハイテク技術を持った職人が川崎の技術を支えている。
- ・町の魅力は住んでいる人の笑顔だと思う。
- ・魅力を支える人を支援したいということは大変いい。魅力を支える人は現場で苦労されていると思うので、それを支えていきたい。
- ・中原のいいところは子どもたちに伝えないと意味がない。小中高校へ何かアプローチができればいいのではないかな。
- ・多摩川は下水が完備してきれいな川になり、河川敷も整備されてスポーツ施設、サイクリングロードもできて市民が活用できるすばらしい川になった。
- ・二ヶ領用水の桜はお花見等で活用して楽しんでいて、とてもいい環境である。
- ・井田山は雑木林が今も残っており、環境として残していただきたい。
- ・等々力緑地は今環境が整備され、施設もでき、とてもいいところだと思う。
- ・平和公園はかなり広い面積があり、とてもすばらしい。
- ・大西学園などプラスバンドで有名な中原区。「音楽のまち・かわさき」から派生して「音楽のまち・なかはら」となればいいと思う。
- ・多摩川の自然を大切にしていきたい。
- ・平和館、等々力緑地、ミュージアム、公文書館、等々力アリーナ、陸上競技場など中原でなければならないものが多い。
- ・子どもが育つ上では土と触れ合って遊ぶことは非常に大切で、子どもたちの成長を応援していけるようにいい中原にしていきたい。
- ・中原の魅力をまとめた観光スポットを大々的にPRしていただきたい。
- ・子どもの徒歩で10分以内に公園があることに魅力を感じる。子育て世代としては助かるし、子どもたちにとってもコミュニケーションの場として一番の場所である。
- ・幾らいいところがあっても、心の余裕がないと魅力的なものも感じられない。受け取る側の気持ちがないともったいないので、よい知恵があればお願いしたい。
- ・中原にはこれだけの人材がいる。歴史だけでなく、文化でもスポーツでもすごく、人の魅力をもっと広げていきたい。ガイドの会ができることで区外の方やほかの方たちに中原の魅力を発信でき、中原が川崎の中で重要なポジションにあり、歴史的にも魅力のあるところを全国的に発信できる。
- ・編み笠や水車も子どもたちに伝えていきたい。
- ・小杉近辺で低料金でミュージカルやコンサートが聞けるような場所ができればいい。
- ・スポーツの町でもある。フロンターレを始め、法政大学野球部、アメリカフットボール、女子バスケットのレッドウェーブも活躍している。等々力グラウンドが改修されるならば、地元の人々が使いやすいものにしていただきたい。
- ・自然や景観、歴史があってもマナーの悪さが目につく。マナーアップと町の魅力の

発信をうまくタイアップさせて進めていけばいいのではないか。

- ・いろいろな魅力があるが、観光地にするわけではないので、自分たちがこんなに中原が好きで誇りに思っていることを共有できることが一番いい。

竹井副委員長からこれまでの審議課題に対する取り組みについて報告

- ・「なかはら地球にいいことプロジェクト」が1月くらいから正式に動き出している。
- ・最初からかちとした組織をつくるのではなく、やりながらネットワークを広げていきたい。
- ・活動の柱は普及啓発、環境学習、環境教育の推進で、まずはよく知っていただくことが大切と思っている。
- ・次は実践に取り組んでいただきたいということで、中原区役所では1課1エコ運動、商店街だと1店1エコ運動をやっているが、企業や町内会、マンションにもやっていただければと思っている。
- ・今後は、中原区役所の事業の環境楽習会への協力や11月29日に100人ワークショップ、11月14日は元住吉のプレーメン商店街とかわさき地球温暖化対策推進協議会で子ども環境サミットも計画されている。3月の新駅でのイベントの折に環境のアピールをしたい。毎年6月が環境月間であるので、来年6月5日ぐらいに環境関連のイベントをやりたい。
- ・次回は11月2日6時半から行う。

芳賀委員から「放置自転車問題」の取り組みについて報告

- ・すみれ保育園にお願いし、駅前通りで交通安全パレードを実施した。
- ・市民活動の集いにも参加し、小学生による小杉自転車調査隊を編成し、小杉の放置自転車を中心にして子どもたちにワークショップをやってもらい、子どもにも放置自転車に関心を持ってもらうため活動している。おもしろ自転車というキャラクター型の自転車に子どもたちに乗ってもらうことで交通ルールを学んでもらう催しも行った。
- ・呼びかけ活動を月に2回行い、毎回20人ぐらいの地元の方の参加をいただいて放置自転車をしないよう呼びかけている。
- ・「放置自転車のないまち通信」2号を約8000部印刷して8月初旬に町内会に回覧した。3号を編集中で、年内に発行したい。
- ・川崎市建設局から区内各駅周辺における放置自転車対策調査票が来て調査した。川連委員にもお手伝いいただき、新丸子駅前の調査をしていただき、レポートを提出した。市の自転車対策室から説明に来てくれて、我々の活動にも関心を持っていただいたと思っている。

11月12日、24日に放置自転車の調査をしたい。毎年秋口に1度調査しているが、今回で10回目で、ことしは少し増えているので、本調査をきっちりして対応を考えていけるように行政とも相談していきたい。

竹井副委員長から「地域コミュニティ」の取り組みについて報告

- ・あいさつの実践を通してよりよい地域コミュニティづくりを行っていくため、まちづくり推進委員会で、小学校、中学校で募集しているマナー・モラルポスターの中であいさつがテーマになっているポスターを使ってアピールしていく。今回約400点応募があった中のあいさつに関するものでポスターをつくった。区役所、町内会、商店街の掲示板に協力いただいて張っていただければと思っている。
- ・ポスターの要望があれば、事務局に言っていただきたい。